

製品名: Met (c-Met) (12F15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13830**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:200-1:500
分子量	156kDa

抗原情報

遺伝子名	MET
別名	AUTS9; c met; cmet; D249; HGFR; MET; RCCP2; Par4; HGF receptor; HGF-SF receptor;
遺伝子 ID	4233.0
SwissProt ID	P08581
免疫原	ヒト Met の組み換えタンパク質 (c-Met)

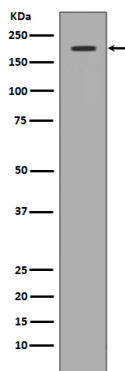
背景

METはプロトオンコジーン（原癌遺伝子）の産物であり、肝細胞増殖因子受容体であり、チロシンキナーゼ活性をコードしています。主要な単鎖前駆体タンパク質は翻訳後切断され、 α サブユニットと β サブユニットが生成され、これらがジスルフィド結合して成熟受容体を形成します。METは、肝細胞増殖因子/HGFリガンドに結合して細胞外マトリックスから細胞質へシグナルを伝達する受容体チロシンキナーゼです。増殖、散乱、形態形成、生存など、多くの生理学的プロセスを制御します。細胞表面でのリガンド結合は、METの細胞内ドメインにおける自己リン酸化を誘導し、下流のシグナル伝達分子のためのドッキング部位を提供します。リガンドによる活性化後、PI3キナーゼサブユニットPIK3R1、PLCG1、SRC、GRB2、STAT3、またはアダプターGAB1と相互作用します。METによるこれらの下流エフェクターのリクルートは、RAS-ERK、PI3キナーゼ-AKT、PLC γ -PKCなど、複数のシグナル伝達カスケードの活性化につながる。RAS-ERKの活性化は形態形成効果と関連し、PI3K/AKTは生存促進効果を調整する。胚発生において、METシグナル伝達は胚葉形成、筋肉および神経前駆細胞の発達と移動、血管新生、腎臓形成に関与する。成体では、創傷治癒、臓器再生、組織リモデリングに関与する。また、造血細胞の分化と増殖も促進する。皮質骨の骨形成を制御する可能性もある（類似性による）。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



293 細胞溶解物中の c-Met 発現のウエスタン プロット分析。